

# 環境経営の基本方針

環境に配慮した製品の開発・製造・販売を通じて  
広く社会に貢献します。

## 環境・品質保証担当役員のメッセージ

甚大な影響を与えた東日本大震災から約1年半が経過しました。被害に遭われた地域の皆様には1日も早い復興をお祈りいたします。昨年度を振り返りますと東日本大震災、原発事故以降は急激な円高、原材料価格の高騰や調達困難、電力不足により制約を受けた生産活動、タイの洪水による影響などが日本経済に深刻な影響をもたらし、いまなお先行き不透明な状況であるといえます。

このような状況下にあっても地球環境を護り、生産活動や商品開発面で環境負荷の低減に取り組むことが企業に課せられた社会的責任であることはいうまでもありません。

当社では環境対応技術の開発に取り組むことを通じて水性塗料、粉体塗料、室内環境対応形塗料、省工程・低温硬化・高耐久性塗料やエネルギー消費を抑制する遮熱塗料など環境負荷物質の低減や省エネルギーへの配慮を行った多様な商品開発に注力し、それらを市場に提供することによってお客様から高い評価を得ています。今後とも環境方針のもと研究開発、原料調達、生産、流通販売、塗装を経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体での環境影響を最小とするとともに、環境と調和した事業活動を推進していく所存です。

また、日本レスポンシブル・ケア協議会(現日本化学工業協会RC委員会)の設立発起人会社としてレスポンシブル・ケア(RC)活動を推進しており、化学物質を取り扱う企業として「環境・安全・健康」を最優先課題としてRC活動に取り組んで活動成果を公表し、積極的に社会との対話・コミュニケーションを展開しています。

今後も法令・規則を遵守し、あらゆるステークホルダーに貢献できる企業活動を進めてまいります。

取締役専務執行役員 管理本部長 **瀬古 宜範**



## 環境方針

大日本塗料株式会社は、「環境負荷が小さく持続可能な経済社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、地球規模の環境保全活動を継続的かつ着実に推進しながら、塗料及び関連製品の開発・製造・販売を通じ社会に貢献する事を基本とする。活動は、以下の環境方針に基づき全員が一致協力して行う。

- ① 製品の研究開発から生産・販売・サービスを経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体に渡り、事業活動から生じる環境への影響を常に的確に評価・把握できる環境マネジメントシステムを確立し、実施し、環境汚染を予防する。
- ② 環境マネジメントシステムを実施、維持し、PDCAサイクルによる継続的改善を図る。
- ③ 事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規制、並びに当社が同意するその他の要求事項を遵守することを約束する。
- ④ 環境保全推進のため、次のテーマを重点的に取り組む。これらの活動は、環境方針に基づき、目的・目標を立て計画的に実施すると共に、内容を定期的に見直し、改善する。
  1. 環境負荷低減を可能にする塗料及び関連製品の開発、販売
  2. 揮発性有機化合物の適切な管理と削減
  3. 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル促進
  4. 省エネルギー並びに地球温暖化防止活動
- ⑤ 環境方針は文書化し周知徹底すると共に、グループ会社を含めた全従業員(パート、派遣者等を含む)に対し環境教育を行うと共に、当社の事業活動に関与する人も含めて、環境保全に対する理解と意識の向上を図る。
- ⑥ この環境方針は一般に公開する。